

🕒	iiii	ii
15分	1~5人	10歳~

locogame

dungeon in memory.

ダンジョン イン メモリー

説明書

ストーリー

面白そうなダンジョン見つけたんだけど、探検に行かない？『ディミヌエンド』って呼ばれてるんだけど、記憶がだんだんと弱くなっていて、道に迷っちゃうんだって。

ほんとに迷ったら魔法使って出てこればいいじゃん。でも迷ってもないのにビビって脱出するのはダサいよね。



ゲームの概要

プレイヤーは通路タイルを重ねて置きながら、どのように通路がつながっているのかを記憶します。

通路がつながっていないと思ったら、ロスト(迷った)と宣言してダンジョンから抜けましょう。

ロストの宣言を正しいタイミングで3回行ったプレイヤーがゲームに勝利します。

ダンジョン探索

1.ダンジョン探索の準備

机の中央に初期タイルを置きます。ここを「ダンジョン」と呼びます。他の通路タイルをウラ向きにしてよく混ぜ、各プレイヤーに3枚ずつ(上級は2枚ずつ)配ります。これらは各プレイヤーの「手札」になります。

残った通路タイルをウラ向きのまま重ねてダンジョンの隣に置きます。これを「山札」とします。

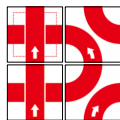
これ以降、この説明書にタイルと書かれている場合は、通路タイルの事を指します。

説明書ではタイルに順番を付けて並べて図示していますが、実際のゲームではタイルは重ねて置きます。



再通行タイル

これらのタイルは2回通ることができます。2回目を通る時は、矢印の向きは関係ありません。



再通行タイルのルール詳細

1の初期タイルは2回通ることができるので、4のタイルの次は、5のタイルを置きます。

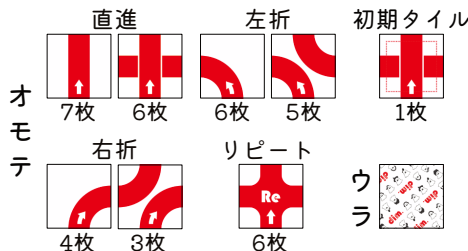
2のタイルも2回通ることができるので、6のタイルの次は7のタイルを置きます。この時ダンジョンには6のタイルが置かれていますが、2のタイルを通して7のタイルに進むので、右図のように6のタイルと7のタイルの向きが揃わないように置くのが正解です。このようにダンジョンの一番上に置かれているタイルと直前に通ったタイルが異なる場合がありますが、手札から出すタイルは直前に通った通路の進行方向と合わせます。



内容物



通路タイル 38枚



通路タイルには、おぼけが描かれたタイルが10枚ありますが、おぼけは追加ルールで使いますので通常は他のタイルと同様に扱ってください。

ロストカード 5枚



得点カード 5枚



ゲームの準備

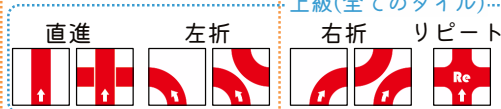


各プレイヤーは同色のロストカードと得点カードのセットを受け取ります。得点カードは0を手前にしてプレイヤーの前に置きます。



初期タイルとプレイレベルに合わせた通路タイルを用意します。

初級(直進と左折のみ)



上級(全てのタイル)

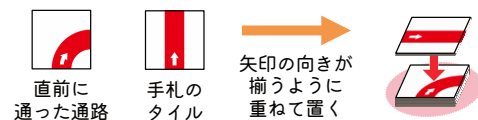


お好みにより、最終ページに記載されている追加ルールを好きなように組み合わせることも可能です。

適当な方法でスタートプレイヤーを決めます。以降、手番は時計回りに移動します。

2-A.探索(手番プレイヤー)

手番プレイヤーは、手札のタイルから1枚選び、直前に通った通路の進行方向と、手札のタイルの矢印の向きが揃うようにダンジョンにオモテ向きに重ねて置きます。



ダンジョンに置かれているタイルの下を見ることは出来ません。ただしダンジョンの上にロストカード(後述)が置かれているときは、ロストカードの下にあるタイルを確認することが出来ます。

ダンジョンにタイルを置いた後、山札からタイルを1枚引いて手札に加えます。山札がなくなった場合、それ以降は手札のタイルのみでゲームを続けます。

リピートタイル (上級用)

リピートタイルは直前に通った通路と同じ動きを繰り返します。リピートタイルを再度通る時は矢印の向きは関係ありません。



リピートタイルのルール詳細

1のタイルで直進した後に、2のリピートタイルを通るのでここも直進します。5のタイルで右折した後、再び2のリピートタイルを通るので、今回は右折します。その結果ループしてしまい、ここでロスト状態(後述)になります。

リピートタイルを続けて通る場合は、最初に通ったリピートタイルの動きを、その後のリピートタイルでも繰り返します。

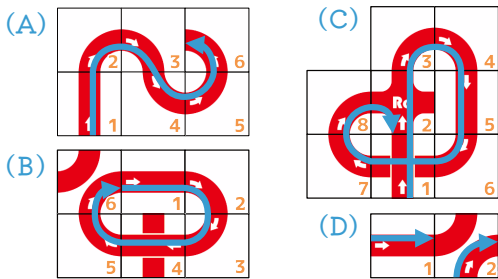
※再通行可能なタイルなどによって、ダンジョンの一番上に置かれているタイルと直前に通った通路が異なっている場合がありますが、リピートタイルは、直前に通ったタイルの動きを繰り返すという事を忘れないでください。



2-B.ロスト宣言 (手番以外のプレイヤー)

ロスト状態

(A)のように進む通路がなくなった状態をロスト状態と呼びます。他にも (B)「ループした時」、(C)「逆走した時」、(D)「ダンジョンに置いたタイルの向きが正しくない時(置き間違い)」もロスト状態となります。



このタイルの縦の通路は上のタイルとぶつかっていますが、この時点では通過しないのでここではロストにはなりません。

手番プレイヤーが2-A.探索を行った後、手番以外のプレイヤーは、ロスト状態になったかどうか判断します。ロスト状態になっていると判断したプレイヤーは、「ロスト!」と宣言し、ダンジョンの上に自分のロストカードを置いた後、今回のダンジョン探索から抜けます。この一連の流れを、ロスト宣言と呼びます。

※ロスト宣言できるのは手番以外のプレイヤーだけです。

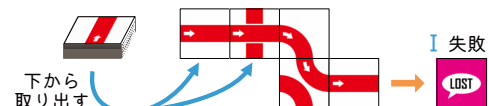
誰かがロスト宣言した後に、他のプレイヤーもロスト宣言をする事が出来ます。その場合はロストカードの上に更に重ねて出します。



手番でないプレイヤー全員が、ロスト宣言をした場合(手番プレイヤーのみが残った場合は、3.記憶の確認に進みます。

ロスト宣言をしなかったプレイヤーがいる場合は、残ったプレイヤーだけでダンジョン探索を続けます。左隣のプレイヤーに手番を移し2-A.探索に戻ります。ただし、次の手番プレイヤーの手札がない場合は、3.記憶の確認に進みます。

3.記憶の確認

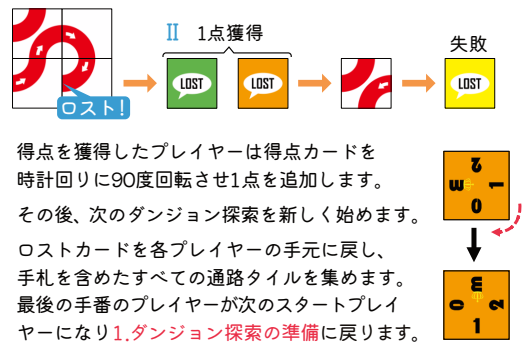


重なったダンジョンの下から、向きを変えずにタイルを1枚ずつ取り出し、場につなげて並べていきます。

I.ロスト状態になる前にロスト宣言をしていた場合
そのプレイヤーのロスト宣言は失敗です。

II.並べていく中で、ロスト状態になった場合
そのままタイルを出し続け、最初にロストカードが出てきたプレイヤー達が1点を獲得します。(同時にロスト宣言をしていたプレイヤー全員が1点を獲得します。) また、ロスト状態になった直後でなくとも、最初にロストカードが出てきたグループは得点を獲得できます。

III.最後までロスト状態にならなかった場合
ロスト宣言をしなかったプレイヤー全員が1点獲得します。



ゲームの終了

最初に3点を獲得したプレイヤーが勝者となり、ゲームが終了します。もし3点を獲得したプレイヤーが複数いた場合は勝利を分かち合います。

ソロルール

全ての通路タイルを使用し、ゲームの流れに沿ってプレイします。ソロプレイでは手札はありません。山札から直接ダンジョンに置いてください。

2-B.ロスト宣言は行いません。「ロスト状態」になったら、山札の一番上からタイルを1枚取り、ダンジョンの横にオモテにして置きます。その後、このタイルを新しいダンジョンのスタートとして探索を続けます。新しいダンジョンのスタートが「リピータイル」だった場合は、直前のダンジョンで最後に通った通路の動きを繰り返します。

山札のタイルがなくなったら3.記憶の確認に進みダンジョンを順に確認していきます。「置き間違いをしていた」または「ロスト状態になった直後に新しいダンジョンを作っていない」時点で失敗です。それまでに使用したタイル(初期タイルも含める)の枚数を数え得点とします。最高得点は38点です。

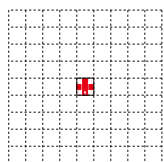
右の追加ルールを適用することも可能です。(その1を除く) 1つ追加するごとに4点加算し、最高得点は50点になります。

追加ルール

これら4つの追加ルールは組み合わせて遊ぶことも出来ます。

その1: 同じ手番での複数プレイヤーのロスト宣言は禁止。
ほぼ同時の場合はその後の手番が早いほうが優先。

その2: 初期タイルを中心とした縦横9マスの架空正方形から出た場合はロスト状態になる。
初期タイルより離れすぎた時にロスト状態となるので、密度の濃いダンジョンを楽しめます。

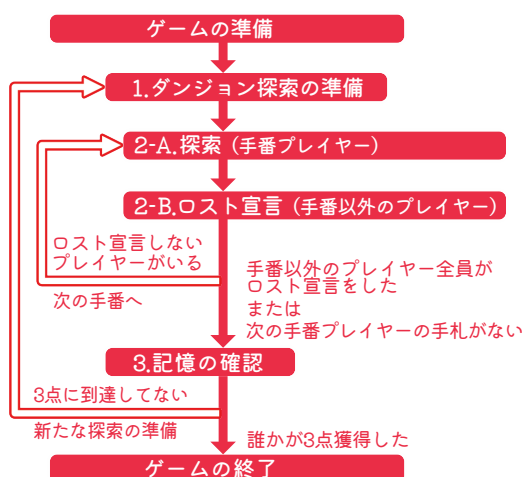


おぼけのイラストを利用した追加ルールを遊ぶことも可能です。おぼけは全5種類。それぞれ2体ずつタイルに描かれています。

その3: おぼけが合計5回、ダンジョンに置かれた時ロスト状態になる。
おぼけは出会うたびに驚かしてきます。何度もぶつくり回している通路を忘れてしまいます。

その4: 同じおぼけが置かれた時ロスト状態になる。(上級のみ)
おぼけは2度目は本気で驚かしてきます。

ゲームの流れ



PDF版説明書
エラッタ等は
こちらから



Special Thanks (敬称略・順不同)
きりんなべ、ましかまる、はらせレブ、橙華堂、くらげシステム
名古屋テストプレイ会、岡崎ボードゲーム会、岡崎市

ゲームデザイン: 四月一日カエル @kawazu_w
イラスト: TOPECONHEROES ダーママ
DTP協力: U巻 @ulbdg
宣伝動画: ひみつり @bg_himitsuri
販売: locogame @locogame

商品に不具合等ございましたら、お手数ですがこちらのメールアドレスまでご連絡ください。 info@okabodo.com